

# 令和4年度 男女共同参画課の新たな取り組みについて

令和5年1月26日  
市民局男女共同参画課

## 令和4年度における新たな取り組み

カテゴリ	項目
困難を抱える女性への支援事業	①困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業 ②学び直しプログラム提供事業 ③その他の取り組み
多様な性のあり方についての理解促進	①理解促進リーフレットの配布 ②市民向けイベントでの講演 ③市職員向けハンドブックの作成
男性による男女共同参画の推進	男性の家事育児参画推進講座

# 1 困難を抱える女性への支援事業

## ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

### ➤ 事業導入経過

- ・ 「困難を抱える女性に向けたアウトリーチ支援」という枠組みで公募を行い、2者より応募をいただいた
- ・ プロポーザル審査で得点の高かった特定非営利活動法人キミノトナリの企画が選定された
- ・ 同法人への委託により実施することとなった

# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ 事前相談・情報提供

事業実施に向け、関係機関に対し事前相談・情報提供を行った。

<事前相談・情報提供先>

- ・ 警察（中央署、東署）
- ・ 児童相談所
- ・ 仙台駅東まちづくり協議会
- ・ 国分町地区安全安心街づくり推進協議会
- ・ その他、市の関係部署 など

# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ 概要

- ・ 相談員が常駐する居場所カフェ「トナカフェせんだい」を開設する
- ・ 相談員が繁華街等を巡回し、若年女性に声をかけて困りごとを聞き取り、必要に応じて「トナカフェせんだい」や適切な相談機関等を案内する

## ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

### ➤ 実施日時・場所

実施日時：毎週金曜日又は土曜日 20:00～23:00

(R4.10月は試行期間とし、11月より本格実施)

実施場所：国分町、仙台駅東口周辺等

(居場所カフェはレンタルスペースに開設)

# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ 主な広報①

・ Twitter

・ Instagram

・ YouTube (PR動画)



・ 地下鉄駅女性用トイレへのポスター掲出

・ 夜回り時の配付 (リーフ・ノベルティグッズ)

・ 仙台市ホームページへの掲載、本事業周知サイトの開設





# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ 主な広報②

- ・ 地下鉄駅女性トイレへのポスター掲出

掲出箇所：各個室の扉内側

掲出駅：南北線3駅（勾当台公園駅、広瀬通駅、仙台駅）

東西線4駅（大町西公園駅、青葉通一番町駅、仙台駅、宮城野通駅）



←ポスター



掲出の様子→

# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ 夜回り時の配布物



リーフレット



ノベルティグッズ  
(ウェットティッシュ)

# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ トナカフェせんだいの様子



# ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

## ➤ 夜回りの様子



## ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

### ➤ 実績（トナカフェセンだい）

- ・ 12月末時点で延べ41人※が利用
- ・ 10代と20代の女性を中心
- ・ 家庭の問題や経済的問題を抱えている方も多く見られた

※試行期間の10月含む

## ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

### ➤ 実績（夜回り）

- ・ 12月末時点で延べ約180人※へ声かけ
- ・ うち1人をトナカフェさんだいへ
- ・ 困難を抱える女性を発見するための目を発揮

※試行期間の10月含む

## ① 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業

### ➤ 課題・今後の方向性

- ・ 次年度も継続して実施予定
- ・ 初年度であるため、まずは今年度の実績をしっかりと  
検証・分析し、次年度の事業の改善に努めてまいりたい。

## ②学び直しプログラム提供事業

### ➤ 概要

学習支援がキャリア選択及び就業などに有効であるとみられる相談者に対して、個々の状況に合わせたキャリアカウンセリングと個別学習支援を提供するもの。



## ②学び直しプログラム提供事業

---

### ➤ 対象者

10代で十分な学びの経験を得られていないなどの理由から

就業や日常生活に影響を受けている女性

⇒年度定員 9 名程度

## ②学び直しプログラム提供事業

### ➤ 特徴

いわゆる5教科の他、対象者のキャリア目標によっては、  
コミュニケーション力を育む学習やパソコン基礎操作なども  
行える

## ②学び直しプログラム提供事業

### ➤ 事業の流れ

- ・ キャリアカウンセリング  
（将来や仕事のことについて相談員と一緒に考える）  
↓
- ・ 学習カウンセリング  
（一人ひとりの目標や希望に合わせて学習方法を決定）  
↓
- ・ 個別学習プログラム提供  
（1回110分、月2回程度（全体で6回程度目安））  
↑↓
- ・ キャリアカウンセリング（個別学習プログラムの状況に合わせて随時）

## ②学び直しプログラム提供事業

### ➤ 事業のイメージ



キャリアカウンセリングを行う  
相談室

## ②学び直しプログラム提供事業

### ➤ 実績

- ・ 12月末時点で7人に対して個別学習プログラムを提供
- ・ 看護専門学校への入学や高卒認定試験合格、パソコン（Excel）操作など、目標に沿った個別学習を提供

## ②学び直しプログラム提供事業

### ➤ 課題・今後の方向性

- ・次年度も継続して実施予定
- ・市の事業としては初年度であるため、まずは今年度の実績をしっかりと検証・分析し、次年度の事業の改善に努めてまいりたい。

### ③その他の取り組み

- 女性の暮らしと困難に関する実態調査
  - ・ 目的：仙台市内の若年女性が抱える問題やニーズを明らかにし、具体的で包括的な支援施策の方向性を探る。
  - ・ 期間：2022年9月16日～10月7日
  - ・ 対象：仙台市内に居住する18歳から39歳までの女性5,000人  
→うち有効回答1,649人（有効回答率33.0%）

### ③その他の取り組み

#### ➤ 女性・若者活躍推進会議

- ・開催日時：（第1回）6月10日  
（第2回）8月17日  
（第3回）11月11日
- ・参加団体数：計10団体



#### <参加団体（順不同）>

- （第1回）ひきこもりLadyの会、宮城野区BBS会、NPO法人アスイク、認定NPO法人Switch
- （第2回）一般社団法人マザー・ウイング、仙台城南高等学校、NPO法人ほっぷすてっぷ
- （第3回）仙台スピーカーズビューロー、認定NPO法人STORIA、NPO法人mia forza



### ③その他の取り組み

#### ➤ 女性・若者活躍推進会議

##### <会議から得られた主な知見>

- ・若年者は自身の困難に気付きにくい
- ・若年期に抱えた困難から抜けだせない人が多い
- ・若年者には安心できる居場所と信頼できる大人の存在が重要
- ・支援が途切れないう支援者間の連携が重要

## 2 多様な性のあり方についての理解促進



## ① 理解促進リーフレットの配布

### ➤ 進捗・実績

- ・ 令和4年9月に、市内企業1,000社を対象として「多様な性のあり方を知る」リーフレットを配布した。
- ・ 今年度中に、区役所や市民利用施設、市内各種学校に約13,000部を配布予定。

## ① 理解促進リーフレットの配布

### ➤ 課題・今後の方向性

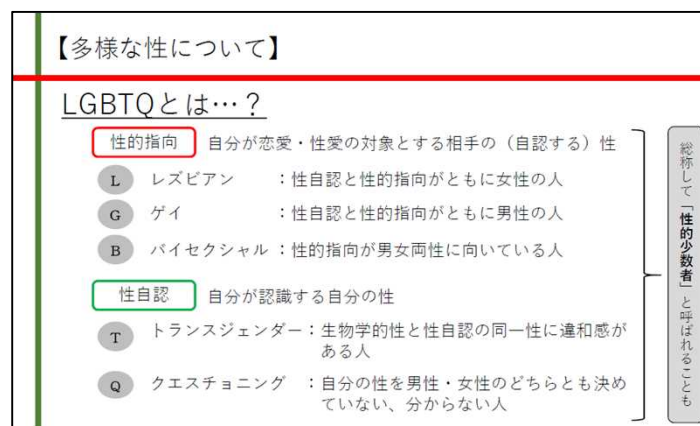
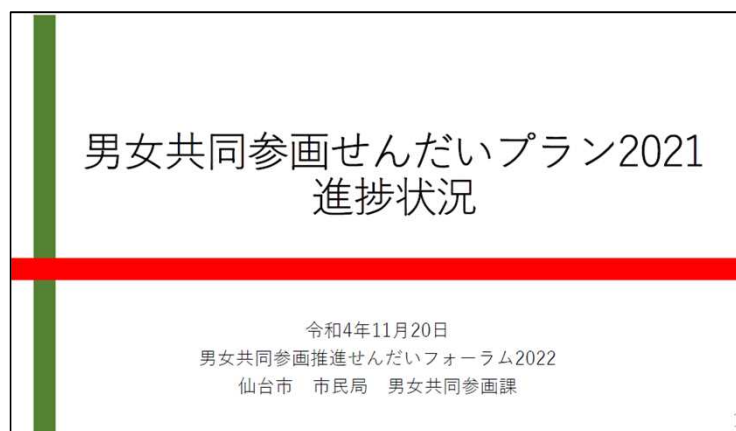
多様な性のあり方に関する取り組みは、近年企業においても重要視されてきていることから、特に企業に対する理解促進の取り組みを更に進めていく。



## ② 市民イベントにおける講演

### ➤ 概要

令和4年11月18日から20日の3日間にわたって開催した「男女共同参画推進せんだいフォーラム2022」内の市民向けイベントにおいて、多様な性に関する内容を盛り込んだ講演を行った。



## ② 市民イベントにおける講演

### ➤ 進捗・実績

講演を行ったイベントには26名が参加した。

### ➤ 課題・今後の方向性

多様な性のあり方に関する取り組みは、多くの市民の理解のもと進めていくことが重要であると考えている。今後も様々な方法で理解促進に繋がる取り組みを実施していく。

### ③ 職員向けハンドブックの作成

#### ➤ 概要

市職員が日々の業務の中で注意すべき視点や場面、性の多様性に関する基礎知識などをまとめた職員向けハンドブックを作成。

#### ➤ 進捗・実績

今年度中の完成を目指し、庁内関係課等と連携し作成に取り組んでいる。



### ③ 職員向けハンドブックの作成

#### ➤ 課題・今後の方向性

職員向けのハンドブックについては、今回の作成後も、社会情勢の変化等に合わせ、内容の修正などの見直しを適宜実施していく。

### **3 男性による男女共同参画の推進**

# 男性の家事育児参画推進講座（概要）

## 事業の目的

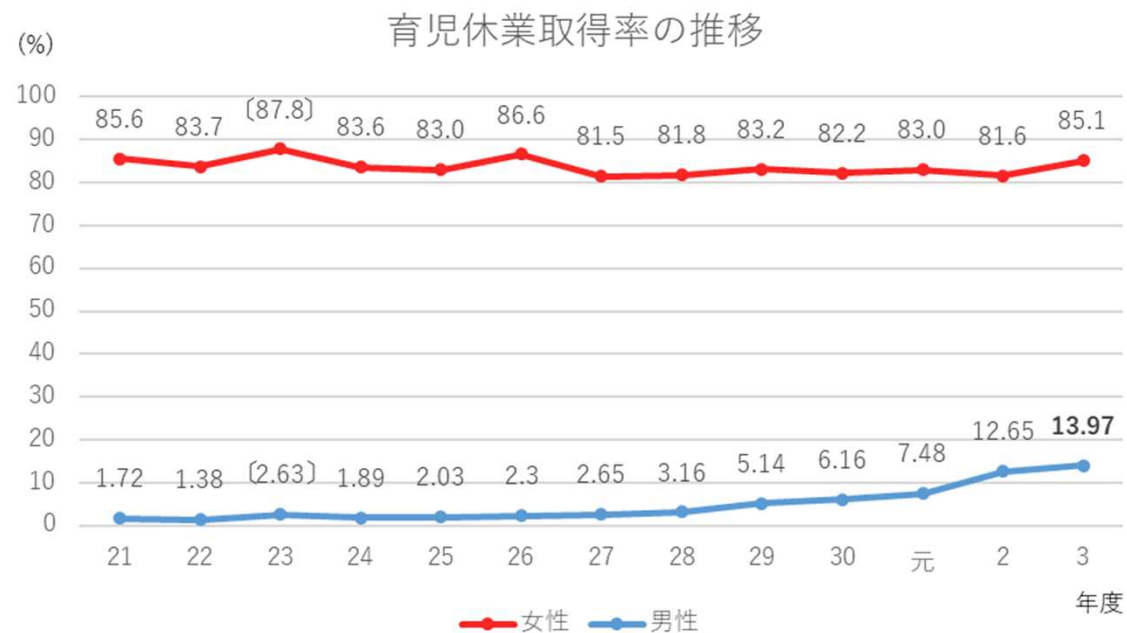
- ・基本目標6に掲げる「男性による男女共同参画の推進」に係る取組
- ・父親の育児等への参画を促進するとともに、職場内の育児等への理解を広めることにより、育児等と仕事を両立できる職場環境づくりを促すことを目的とした講座を実施するもの



# 男性の家事育児参画推進講座（概要）

## 子育て世代の現状

- 共働き世帯の割合が増加  
昭和60年：718万世帯  
→令和3年：1,177万世帯
- 男性の育休業取得率増加も、  
女性と比べるとまだまだ低い
- 家事・育児の時間  
男性1時間9分、女性4時間4分  
4倍の開き



出典：厚生労働省「令和3年度雇用均等基本調査」を基に作成

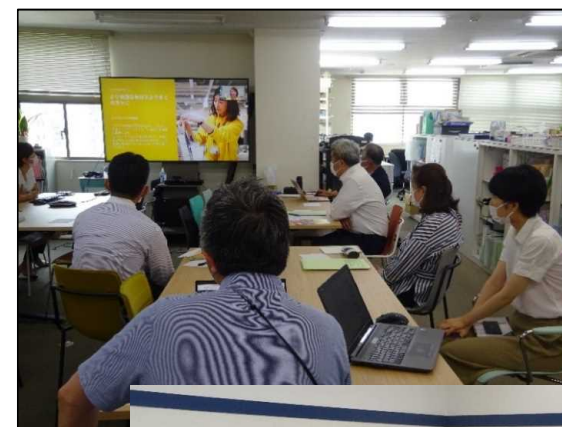
## 男性の家事育児参画推進講座（概要）

### 連続講座「パパカUP講座～ワーク・ライフ・バランスのすすめ～」

- ・ 企業・団体・学生を対象とした出前式・全3回程度の連続講座 ※R3年度は市民協働事業提案制度で実施
- ・ 講座プログラム

【講話】子育ての現状、父親の家事育児参画に関する講話、男性社員育休体験談

【グループワーク】子育て中・これからパパになることが想定される男性が対象。家事育児の見える化、NGワードなどについてのグループワーク



※昨年の様子

## 男性の家事育児参画推進講座（概要）

### 啓発冊子の配布

#### 「パパカUP！HAPPYワーク・ライフ・バランスのすすめ」

- ・ワーク・ライフ・バランス（WLB）についての啓発冊子を配布
- ・現役の父親・これから父親になる方向けの内容、家族で考える「ライフイメージ」、従業員のワーク・ライフ・バランス実現のために企業がやるべきこと等



## 男性の家事育児参画推進講座（進捗・実績）

### R4年度の進捗状況

- ・ NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワークに業務委託。
- ・ 在仙企業、NPO団体、大学等に広報。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況等も踏まえ、1社当たりの開催回数を柔軟にしたほか、オンラインによる実施も可能。
- ・ R4年12月末現在で講座実施件数 0件

## 男性の家事育児参画推進講座（今後の方向性）

### 今後の方向性

- ・ 令和4年10月から“産後パパ育休制度”が開始
- ・ 子育て中の男性だけではなく、独身や学生も対象とすることで、より早い段階で子育てや家事に対しての理解を広める。
- ・ 講座実施企業からの意見を伺い講座の内容に反映させるなど、引き続き、男性の家事育児参画推進に関する講座を実施していく。
- ・ 多くの企業等に活用いただけるよう、広報手法を検討し、幅広く周知を図っていく必要がある。